

# 技能評価システム移転促進事業 (SESPP)

## 事業実施報告書【カンボジア】

担当講師	稲川 文夫 (SESPP事務局技術顧問)
実施期間	2026年2月2日(月)～2月6日(金)
実施場所	カンボジア王国 プノンペン市 カンボジア国立ポリテク大学 (NPIC)
研修	技能評価者講習 (SAT)
実施職種	機械検査 2 級

2026年2月

## 結果概要

1. 対象者数： SAT 受講者数 14 名 / 修了者数 14 名

### 2. 日程

日時	実施内容
2月2日(月) 8:30~16:30 (全て現地時間)	【技能評価者講習 (SAT)】 (1)研修スケジュール説明 (2)評価者の役割と責務 (3)実技試験問題及び必要な測定器等について (4)必要な備品について (5)実技試験実施方法及び運営上の留意点について ・受検者に対する試験前注意事項用紙の使い方 (6)実技試験の3級と2級の違いについて (7)ハイトゲージの使い方及び測定演習 (8)歯厚マイクロメータによる歯車測定 ・またぎ歯厚の測定法 ・法線ピッチの求め方 ・またぎ歯厚測定演習
2月3日(火) 8:30~16:30	【技能評価者講習 (SAT)】 (1)Role play の準備 ・試験会場設営・機材の配列(作業1~作業4) ・試験用機材チェック及び配列 ・測定器のゼロ点調整 ・解答用紙への測定値の記入方法説明 ・作業態度採点用紙の説明 (2)Role play(評価者と受検者に別れて) ・全員が作業1~作業4の測定を行い解答用紙に測定値を記入すること。
2月4日(水) 8:30~16:30	【技能評価者講習 (SAT)】 Role play (続き) (1)正解値の測定・実習(作業1~作業4) (2)減点表作成(作業1~作業4) (3)採点実習(作業1~作業4) ・受検者が解答した答案を使って採点演習 ・作業態度採点の取りまとめ ・実技試験結果表の作成 (4)測定器の保管方法を説明 ・全員で正しい手順に基づいて測定器を保管

2月5日(木) 8:30~16:00	<b>【技能評価者講習 (SAT)】</b> (1)計画立案等作業試験の進め方を説明 (2)準備したデータに基づいて統計の問題の解き方を説明 (3)準備した例題に基づいて図形の問題の解き方を説明 (4)計画立案等作業試験にチャレンジ (105分) (5)計画立案等作業試験の採点方法を説明 ・受検者が解答した答案を使って採点演習
2月6日(金) 8:30~15:00	<b>【技能評価者講習 (SAT)】</b> (1)計画立案等作業試験問題の解き方を説明 (2)角度 $\theta$ と長さ $l$ を求める各種問題の解き方 (3)総括 ・アンケート記入

### 3. 講評

(1) 機械検査 2 級実技試験（製作等作業試験）課題では、ハイトゲージによる測定と歯厚マイクロメータによる平歯車のマタギ歯厚測定が新しい課題として追加されている。ハイトゲージによる測定に関しては、使い方及び測定方法を説明した後、全員が測定演習を通して測定の要領をつかめたように感じた。

一方、平歯車のマタギ歯厚測定に関しては、何故、マタギ歯厚で歯車の精度が管理されているのかを理解することが難しいようであった。またぐ歯数（歯厚マイクロメータではさむ歯数）については、歯車の歯切り作業と関連付けて歯車測定を指導することが必要であると感じた。

(2) 測定器の保守管理について

精密測定を行う上で、測定器の保守管理は非常に重要なことである。しかし、測定器の保全状況は極めて悪く、錆が発生しているブロックゲージやマイクロメータのスピンドルが散見された。

そこで、再度、正しい保全の仕方を説明しながらやって見せて、その後、全員にやらせて、その出来具合を確認した。とりわけ、ブロックゲージに関しては、測定面の汚れをきれいにふき取った後、油を薄く塗布することを指導した。測定器は使った後、必ず汚れをふき取って保管することを習慣化することを指導した。

### 4. アンケート結果

<SAT>

◆受講者 14 名（回答者 14 名）（※5 段階評価）

満足度：	大変満足＝10 人	満足＝4 人
役立ち度：	大変役立つ＝10 人	役立つ＝4 人
継続期待度：	是非とも継続すべき＝11 人	継続すべき＝3 人

**【改善点・提案】**

- ・今後もこのような研修を数多く受講したい。
- ・測定機器を使用した実習をもっと受講したい。
- ・この研修は測定技術の習得に非常に有用であり、可能であれば、研修期間を5日間以上にすべきである。
- ・試験に合格するために、もっと測定機器の練習をしたい。
- ・研修を継続してもらいたい。
- ・研修期間を長くして、毎年研修を実施してもらいたい。

**【意見・感想・実施希望】**

- ・機械検査(2)
- ・溶接個所の欠陥検査
- ・産業検査(Industrial Inspection)
- ・機械加工技術(Machining Technology)
- ・研修期間を2週間～1か月にしてもらいたい。
- ・テストに向けた練習を希望する。
- ・この研修の継続を希望する。また、色々な測定機器を使用した実技講習を受講したい。
- ・もっと練習をして試験に合格したい。
- ・ウォームギアと傘歯車について学びたい。また、この研修の2級が終了したら1級を受講したい。

◆現地責任者1名(回答者1名)(※5段階評価)

継続期待度： 是非とも継続すべき=1人

**【改善点・提案】**

- ・模擬検定を実施してもらいたい。

**【意見・感想・実施希望】**

- ・機械検査職種のより高いレベル